

第31回

全国豊かな

海づくり大会

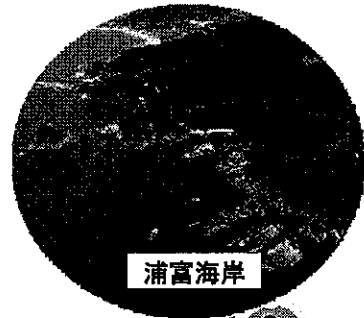


鳥取県

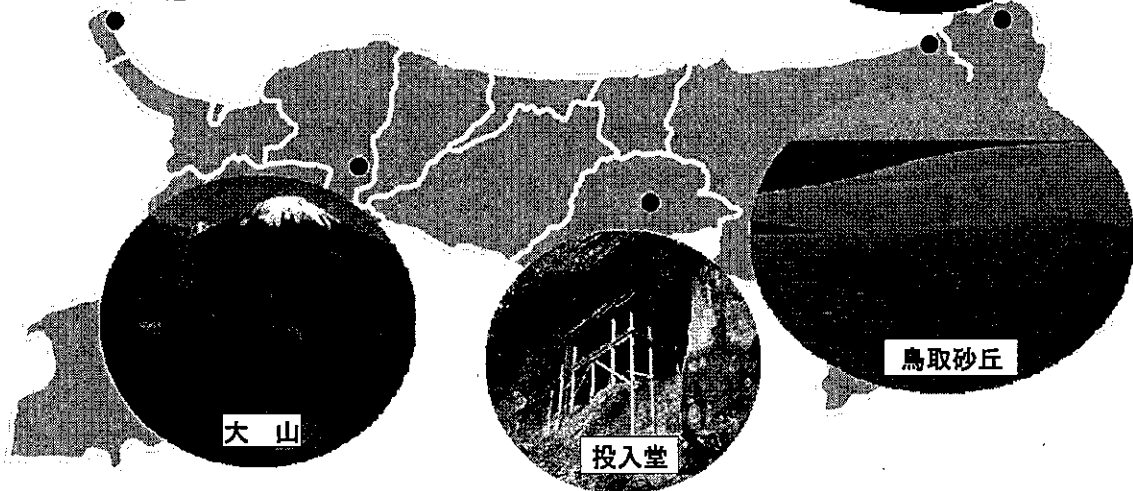
【つくろうよ みんなが笑顔になれる海】開催：平成23年秋



境漁港の水揚げ



浦富海岸



大山

投入堂

鳥取砂丘

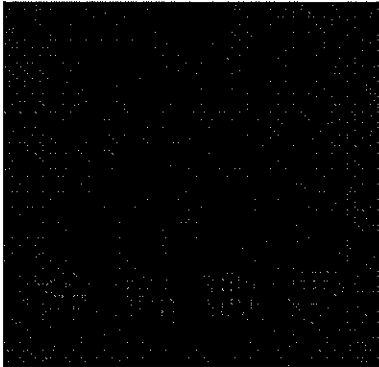
基本計画書

第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会

平成22年4月23日策定

INDEX

| | |
|------------------------|-----------|
| I 全体概要 | 2 |
| 1. 大会の概要 | 3 |
| 2. 開催の意義 | 4 |
| 3. 基本理念 | 5 |
| 4. 基本方針 | 5 |
| 5. 鳥取県大会の展開方法 | 6 |
| II 大会計画 | 7 |
| 基本的な考え方・行事構成 | 8 |
| 1. 全体計画 | 9 |
| (1) 会場配置 | |
| (2) 行事計画 | |
| 2. 式典行事 | 12 |
| (1) 会場配置 | |
| (2) 行事計画 | |
| 3. 海上歓迎・放流行事 | 15 |
| (1) 会場配置 | |
| (2) 行事計画 | |
| 4. 関連行事 | 22 |
| (1) ふれあい交流行事 | |
| 5. 映像中継計画 | 28 |
| 6. その他の行事 | 29 |
| (1) 絵画・習字優秀作品御覧 | |
| (2) 歓迎レセプション | |
| 7. 大会運営計画 | 31 |
| 8. 荒天計画 | 32 |
| III 広報計画 | 33 |
| 1. 全体の概要 | 34 |
| 2. 海づくりフェスタ(1年前プレイベント) | 35 |
| 3. 今後に向けた取組 | 36 |
| IV 実施スケジュール | 37 |



第31回
全国豊かな
海づくり大会 鳥取県

【つくろよ みんなが笑顔に なる海】開催：平成23年秋

I 全体概要

1. 大会の概要

- 大会名称 第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取大会
- 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会
- 後援 農林水産省、環境省（予定）
- 開催場所 鳥取市
- 開催時期 平成23年9～10月の土曜・日曜の2日間
- 参加者数 約50,000人
- 会場 「式典行事」は とりぎん文化会館
「放流行事等」は 鳥取港西浜地区 で実施します。
- 大会テーマ 『つくろうよ みんなが笑顔に なれる海』
- 大会キャラクター 『ととリン』



1 全体概要

2. 開催の意義

(開催趣旨)

全国豊かな海づくり大会は、魚食国である日本人の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるために、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川的环境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展をはかることを目的として、天皇皇后両陛下ご臨席のもとに都道府県ごとに昭和56年に第1回大会が大分県で開催されて以来、毎年各地で開催されています。

(鳥取県の水産)

第31回大会を開催する鳥取県は、日本海に面し、海岸線の総延長は129kmで、その約65%が砂浜海岸で占められています。古くから、まき網、いか釣り、底びき網、かにかご、刺網などの漁船漁業が行われており、ズワイガニ、ベニズワイガニ、マグロ、ブリ、スルメイカ、アジなど四季折々の新鮮な海の幸が漁獲されてきました。

しかし、近年、漁業経費の高騰、水産資源の減少、漁場環境の悪化、漁業就業者の減少と高齢化など、本県の漁業を取り巻く状況も厳しさを増しており、これらの課題を克服し、漁業の担い手確保や活気あふれる水産業を取り戻すことが重要な課題となっています。

(豊かな自然を次世代へ)

鳥取県の約74%を占める豊かな森から流れ出る水は、清らかな川の流れとなって田畑を潤し、様々な生き物を育んできました。清らかな水は自然との調和の中で維持され、県民の生活に恵みをもたらしています。このように緑あふれる森林や森・川・海が一体となった自然の循環を守り、次世代の子どもたちに引き継いでいくためには、全ての県民が自然環境の保全や共存の重要性を考え、行動していくことが重要です。

また、鳥取県の東部には、千代川の悠久の流れによって形成された鳥取砂丘や浦富海岸に顕著に見られるように、日本海の冬の季節風による波浪で侵食・風化された海食地形などの地形・地質を多く確認することができます。こうした貴重な地質遺産を保全し、活用するためには、住民、行政、民間が協働で取組まなければなりません。

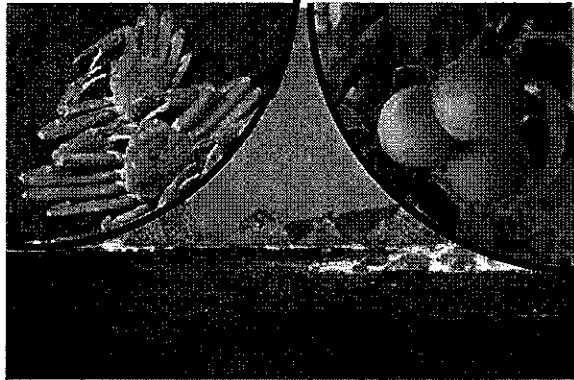
(開催意義)

このような中、本県において「全国豊かな海づくり大会」を開催することは、県民一人ひとり、ひいては国民が環境の保全に対する意識の高揚を図るとともに、水産資源を維持し、本県の水産業の振興と発展を図る上で、大きな契機になるものであります。

1 全体概要

3. 基本理念

豊かな海の恵みに感謝し、未来へつなげる海づくり
～「食のみやこ鳥取県」にみんなが笑顔でつどう～



4. 基本方針

(1) 水産業の持続的発展

水産業の持続的・安定的発展のために、「資源の適切な管理」「つくり育てる漁業」「豊かな漁場づくり」による水産資源の確保と「漁業の担い手確保」の一体的推進に一層取組み、未来を切り拓く大会とします。

また、このような取組みや水産業の重要性を認識する大会を開催することで、漁業に取組む地域の将来に向けた水産業の在り方や、今後の取組みを皆で考えることを鳥取県から発信します。

(2) 豊かな自然環境の保全

豊かな自然、環境を守り、育てていく気持ちを次の世代へつなげる礎となる大会とします。

特に、河川・湖沼、海の世界の保全や改善・再生につながる活動に一人ひとりが取組む契機となる大会とします。

(3) 「食のみやこ鳥取県」の魅力発信

「食のみやこ鳥取県」のきれいな海で獲れる安全・安心な水産物、美しい環境の中で育てられた四季折々の素晴らしい自然の恵みなどの魅力を全国に効果的に発信する大会とします。

特に、水産物の優れた栄養や美味しさを再認識してもらい、水産物の消費拡大を提唱する大会とします。

また、鳥取県の豊かな自然、温泉、歴史、芸術・文化等の魅力を全国に発信します。

(4) 温かみのある大会

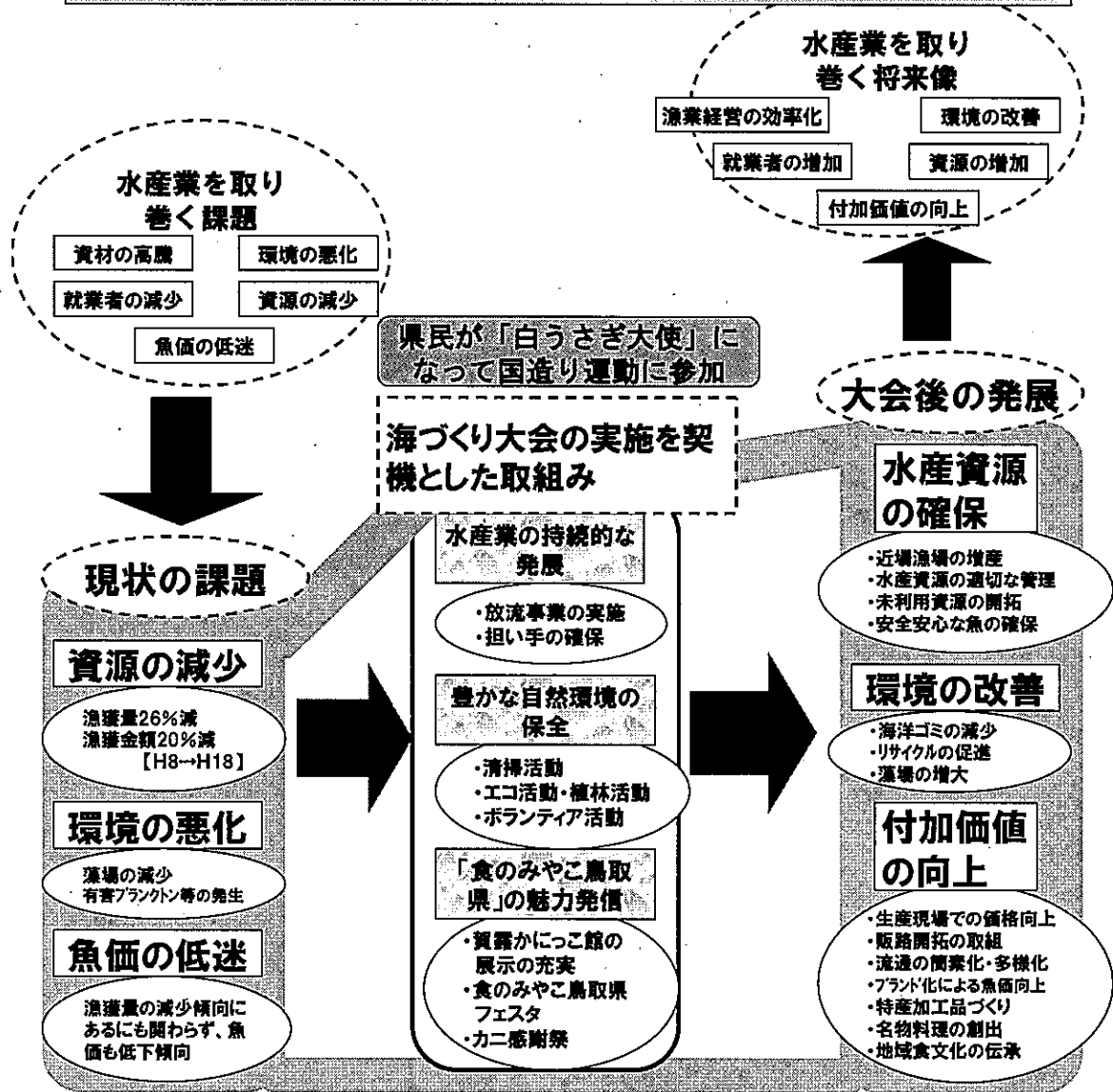
水産業を中心とした関係団体や漁業関係者、ボランティアなどとの協働、連携により、大会に関係する県民が一丸となって、おもてなしの気持ちで、温かみのある大会とします。

また、創意工夫による手作りの大会とします。

1 全体概要

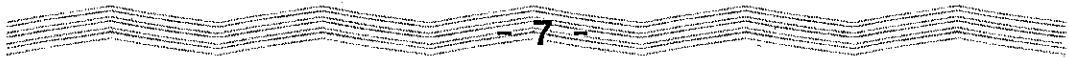
5. 鳥取県大会の展開方法

平成23年は「うさぎ年」です。そして鳥取県には、白兎海岸の大国主命と白うさぎの伝説を始め、県内各地に「白うさぎ」伝説があります。今回の大会では、これらの伝説にちなんで、大会を契機とした「ふるさとの森・川・海を守り育てる」運動に参加した人たちを「白うさぎ大使」と命名し、県民総参加による新たな国造り運動を展開していきます。





第31回
全国豊かな
海づくり大会 鳥取県
[つくろうよ みんなが笑顔になれる海] 開催:平成23年秋



II 大会計画

■基本的な考え方

天皇皇后両陛下をはじめ、県内外から多数の来場者をお迎えし、水産資源の確保や豊かな自然、環境を守り育てる取組みを全国に発信する大会とします。

また、海や水産業への理解を深め、鳥取県の魅力も満喫できる多彩な展示・催事を展開します。

■行事構成

●式典行事

豊かな海づくりのために功績があった団体などの表彰、その活動紹介、漁業後継者の決意表明や大会決議などを行います。

●海上歓迎・放流行事

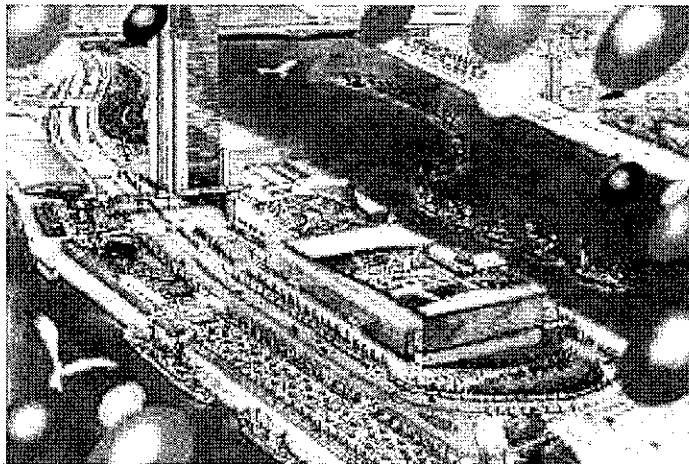
本県水産業の活力を示し、恵みをもたらす海への感謝を込めて、漁船による海上パレードなどを行います。

また、海への感謝の心を養い、次代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて稚魚や稚貝の放流を行います。

●関連行事（ふれあい交流行事）

県内外の参加者に、鳥取県の海や水産業、環境に関する活動などを広く紹介します。

また、鳥取県の豊かな自然がもたらす特産品や伝統文化などの魅力を満喫していただきます。



※上図は、先催県の『イメージ図』であり、今後変わります。

II 大会計画

1. 全体計画

(1) 会場配置

■基本的な考え方

会場となる施設・敷地の形状・設備・景観を最大限に活かし、すべての来場者に安全・安心・快適な空間を計画します。

●式典行事会場 <とりぎん文化会館>

既存施設の設備・空間を活かし、格調高い鳥取県らしい式典行事を行います。

●海上歓迎・放流行事会場 <鳥取港西浜地区>

日本海に面し、鳥取砂丘も遠望できる広大なロケーションを活かし、鳥取港西浜地区の岸壁及び港内を利用して海上歓迎行事と放流行事を行います。

●関連行事（ふれあい交流行事）会場 その1

<コカ・コーラウエストスポーツパーク 食のみやこ鳥取県フェスタとの連携>

○企画展示

海や水産業、環境に関する研究成果などを楽しく、分かりやすく展示します。料理教室やタッチングプールなど、広く一般の来場者が「海づくり大会」に参加し、楽しめるよう、鳥取ならではの思い出となる体験型のイベントを行います。

○ステージゾーン

大勢の一般来場者に「式典行事、海上歓迎・放流行事」の中継をはじめ、多様なアトラクションや伝統芸能で鳥取県の魅力を伝えます。

○物産販売・飲食

「食のみやこ鳥取県」の自然の恵みである農林水産物を中心に、県内各地の特産品を展示・販売します。海づくり大会を記念して実施した、「料理コンテスト」、「弁当コンテスト」の優秀作品の展示等を行います。

●関連行事（ふれあい交流行事）会場 その2

<鳥取港西浜地区 マリンピア賀露との連携>

○企画展示

沖合荷捌所や空地スペースにおいて、放流行事の前後の時間等を利用して見ていただく展示として、鳥取港で水揚げされる魚介類の紹介や、本県の基幹漁業である沖合底びき網漁業、地元賀露の歴史文化等を分かりやすく展示します。また、「かっこ館」と連携して、一体的な展示を行います。

○物産販売・飲食

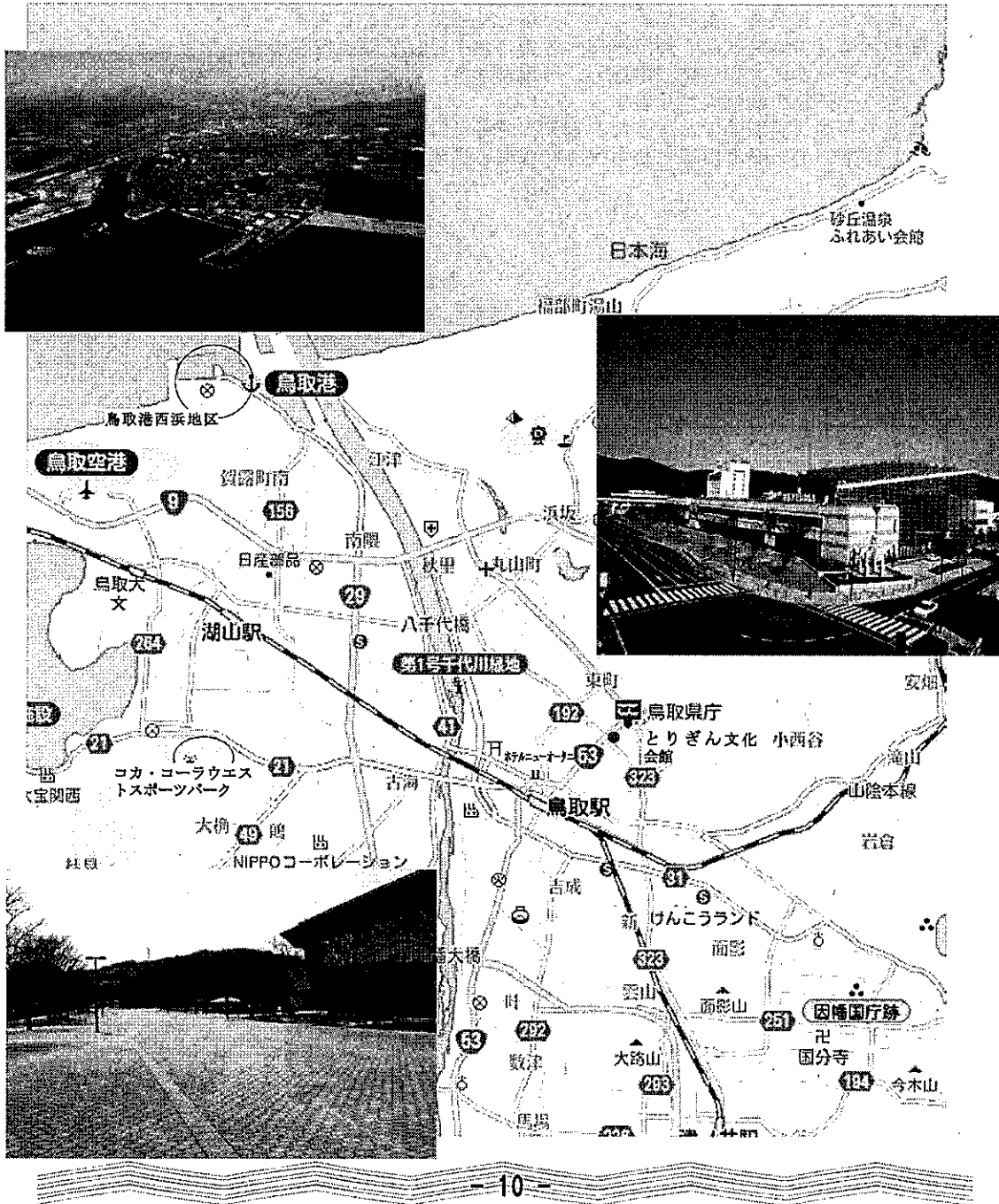
既存の店舗（直売所）の活用や連携により、放流行事参加者が終了後に西浜地区へ滞留する工夫を図り、特産品の販売を行います。

II 大会計画

1. 全体計画

会場配置図

第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取大会



II 大会計画

1. 全体計画

(2) 行事計画

■ 基本的な考え方

- 各行事のタイムスケジュールに従い、招待者及び来場者の移動がスムーズに行えるよう、安全面、機能面を十分に考慮した運営計画とします。
- 規制エリア内の式典、海上歓迎・放流行事の模様を関連行事会場のアトラクションステージの大型映像に中継し、一般来場者にも臨場感のある映像を見ていただき、一体感の醸成を図ります。
- 食のみやこ鳥取県フェスタなど、既存のイベントと連携することで、県内外を問わず全ての来場者が楽しめる大会を目指します。

■ 行事構成

| 式典行事会場 | 海上歓迎・放流行事会場 | 関連行事会場 | 関連行事会場 | 関連行事会場 | 鳥取市内 | 鳥取市内 |
|------------|----------------|--------------------|----------------|----------------------|------------------|---------------------|
| とりぎん文化会館 | 鳥取港西浜地区 | コカ・コーラウエストスポーツパーク | | | 会場(B) | 会場(C) |
| 大会 前日 | | | | | | |
| 総合リハーサル | 総合リハーサル | 関連行事 【ステージイベント】 | 関連行事 【企画展示】 | 関連行事 【食のみやこPR・物販】 | 作品展示 就活レセプション | 関連行事 【選手技能の披露など】 |
| 大会 当日 | | | | | | |
| 開場 8:30~ | | 会場オープン | 会場オープン | 会場オープン | | |
| プロローグ | | | | | | |
| 式典行事 | 式典行事中継 | 式典行事中継 | | | | |
| 海上歓迎行事等の中継 | 海上歓迎・放流行事 | 海上歓迎行事等の中継 | | | | |
| | 関連行事の中継 | 関連行事 | 関連行事 【企画展示】 | 関連行事 【食のみやこPR・物販】 | | |
| | 企画展示 物販コーナー | 関連行事 【ステージイベント】 | | | | |

13:00

II 大会計画

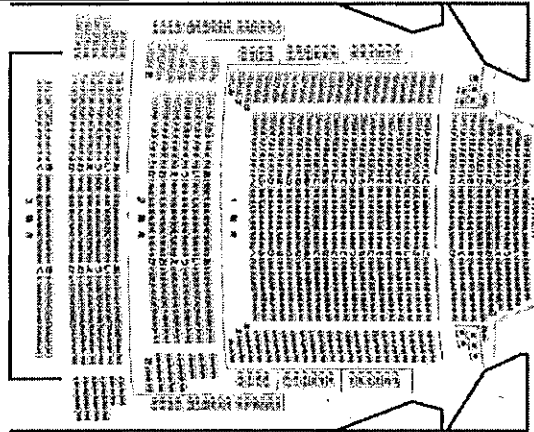
2. 式典行事

(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

会場内を、「招待者受付エリア」「式典エリア」「本部・控所エリア」とし、明確なエリア分けにより、機能的で分かりやすい会場とします。
すべての席から式典内容が見やすいレイアウトにします。

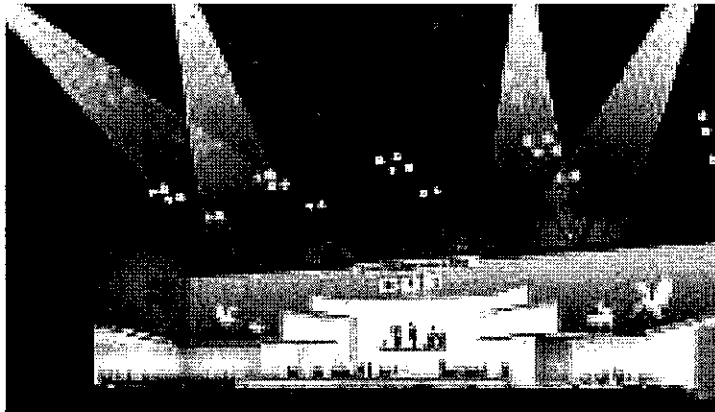
会場構成(例)



* 具体的なエリア分けは外注して実施計画で作成

■ 式典ステージイメージ図

ステージは華美にならないシンプルな構成とし、背景には白うさぎや日本海をイメージするなど、鳥取県らしい装飾を行います。



※上図は、先催県の『イメージ図』であり、今後変わります。

II 大会計画

2. 式典行事

(2) 行事計画

■基本的な考え方

天皇皇后両陛下のご臨席にふさわしい、厳粛で品位のある進行を基本に、豊かな海の重要性を、鳥取県から全国に発信する内容とします。

大会前から行ってきた水産振興や環境保全の取り組みに光をあて、大会を通じて大切な海を守るためにできることを誓う場とします。

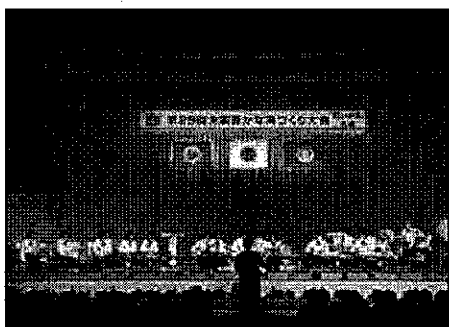
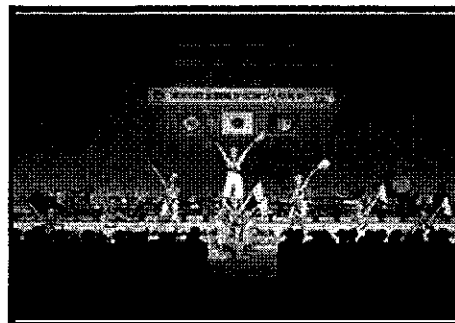
■日時 平成23年9～10月の日曜日(午前中)

■場所 とりぎん文化会館

■プロローグ

地元鳥取で活躍する高校生、団体などによる郷土芸能や演奏を、全国各地からの招待者に披露します。

鳥取県の自然豊かな清流や日本海、鳥取県の漁業者が環境保全や資源管理に取り組む様子を映像で紹介します。






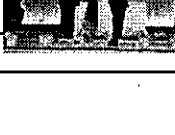


新潟県での実施状況

II 大会計画

2. 式典行事

■演出計画

| 進 行 | 内 容・出 演 者 | |
|---|--|---|
| プロローグ | 映像、伝統芸能、地元オーケストラ | |
| 天皇皇后両陛下御臨席 | | |
| 大会旗入場 | 旗手: 地元水産高校 先導: 地元幼稚園児(鼓笛隊) |  |
| 開会のことば | 鳥取県漁業協同組合代表理事組合長 | |
| 国歌斉唱 | 地元オーケストラ | |
| あいさつ | 大会会長(衆議院議長) 鳥取県知事 | |
| 歓迎のことば | 鳥取市長 |  |
| 表彰 ・功績団体の表彰 ・作文・写真、絵画、習字入賞者の表彰 | 大会会長賞 農林水産大臣賞 環境大臣特別賞 水産庁長官賞 鳥取県知事賞 |  |
| 最優秀作文の発表 | 大会会長賞 受賞者代表 |  |
| とっとり海づくりメッセージ(仮) ・誓いのことば ・子ども達によるリレーメッセージ | 漁業後継者夫妻 県内で活動する子ども達、漁業者など → 山・川・海の自然の循環をテーマにした活動や漁場保全の取り組み活動を踏まえたメッセージ |  |
| 大会決議 | 豊かな海づくり大会推進委員会会長 | |
| 大会旗引継 | 鳥取県知事から〇〇県知事へ大会旗引継 | |
| 次期開催地あいさつ | 〇〇県知事 | |
| 閉会のことば | 鳥取県議会議長 |  |
| 天皇皇后両陛下御退席 | | |

II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

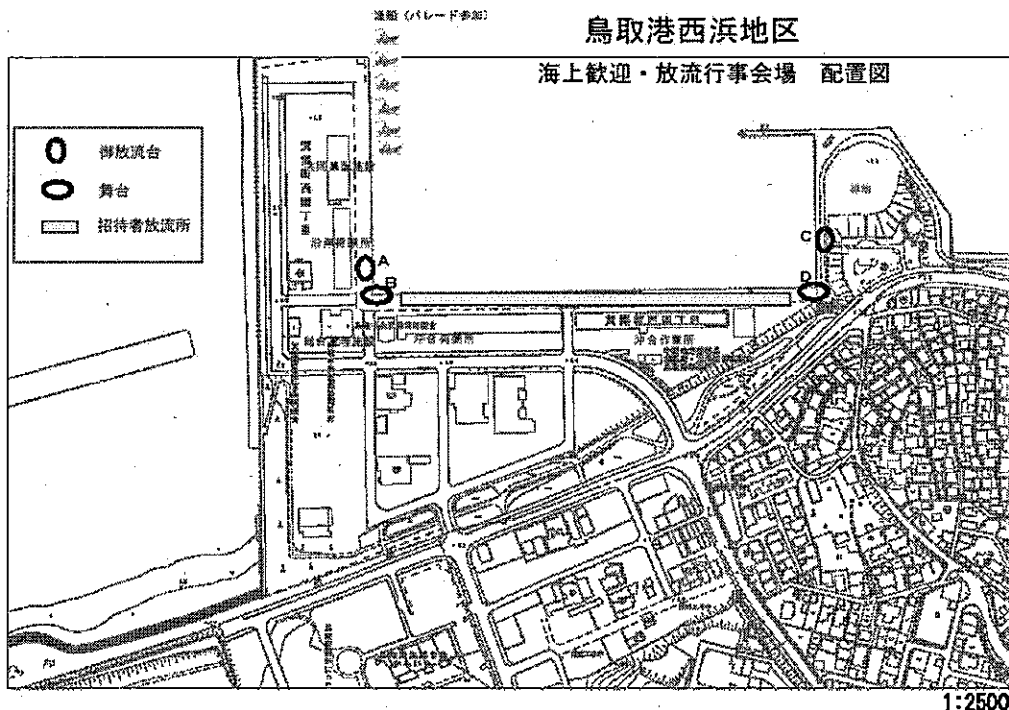
(1) 会場配置

■ 基本的な考え方

日本海に面し、鳥取砂丘も遠望できる広大なロケーションを活かし、鳥取港西浜地区の岸壁及び港内を利用して海上歓迎行事と放流行事を行います。

御放流所は、天皇皇后両陛下が御放流される様子が大会参加者から見やすいように設置します。

また、天皇皇后両陛下の御負担にならないよう、徒歩による移動距離を十分考慮した導線計画を作成します。



AB側を第一候補とする

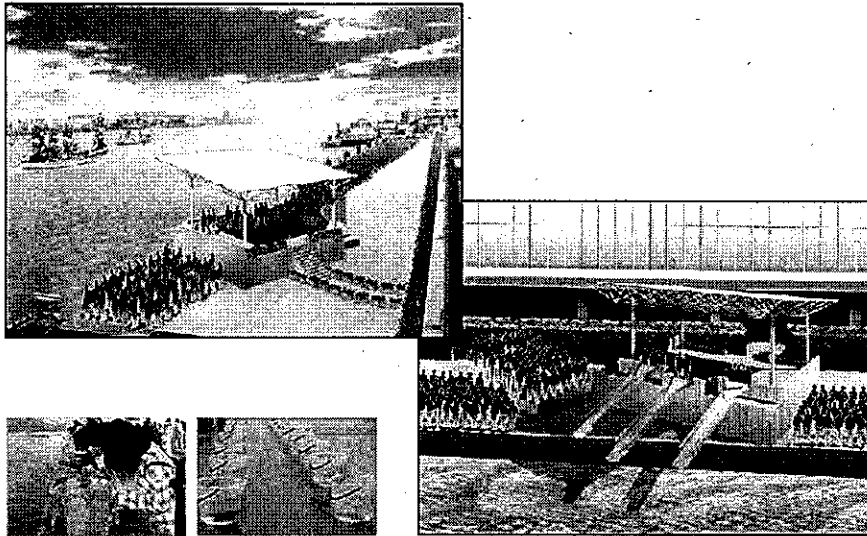
II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

■御放流所イメージ図

御放流所は、周辺の景観を損なわないよう配慮しつつ、万一の風雨の影響を最低限に抑えるよう、十分な屋根の大きさを確保します。可能な限り県産材を用いることとし、環境に配慮し、大会終了後は県産材の再利用を行います。

■御放流所イメージ図



※上図は、先催泉の『イメージ図』であり、今後変わります。

II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

(2) 行事計画

■基本的な考え方

日本海に面し、鳥取砂丘を遠望する千代川河口の鳥取港西浜地区において、鳥取県で操業する代表的な漁船や官公庁が所有する取締船による海上パレードで招待者を歓迎します。また、鳥取の豊かな海を守るために、県魚のヒラメなど重要魚種の稚魚を大会参加者が放流します。

■日時 平成23年9～10月の日曜日（午前中）（調整中）

■場所 鳥取港西浜地区

■海上歓迎行事

実施内容

①構成

○全国有数の漁業基地である境港の大漁太鼓や県内各地に伝わる貝がら節など、水産に関する伝統芸能により両陛下をお迎えします。

○鳥取沖で操業する漁船7隻、官公庁船2隻が海上パレードを行います。
（港内から出航し、港外へ）

②演出

○司会者の説明により、来場者に分かりやすい行事進行を行います。

○海上パレードの際、地元賀露神社に伝わるみこし海上行列（ホーエンヤ祭）の天馬船を取り入れて、鳥取らしさを演出します。

*賀露神社 文武天皇の時代に創設、大山祇神を奉祀、猿田彦命、木花咲耶姫命を合祀
吉備真備（遣唐副使）を鎮祀

*ホーエンヤ祭 鳥ヶ島に辿り着いた吉備公一行を筏で岸まで奉曳した故事が起源



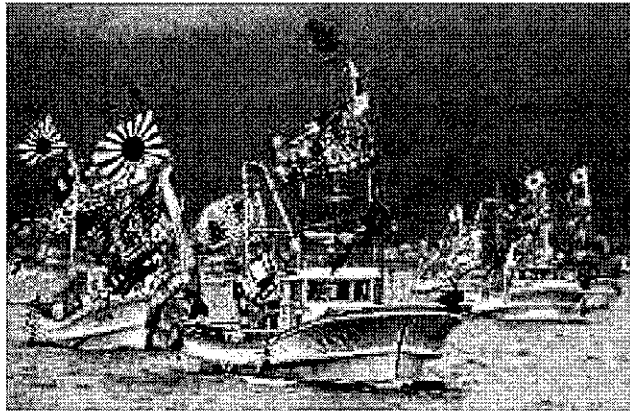
天馬船

II 大会計画

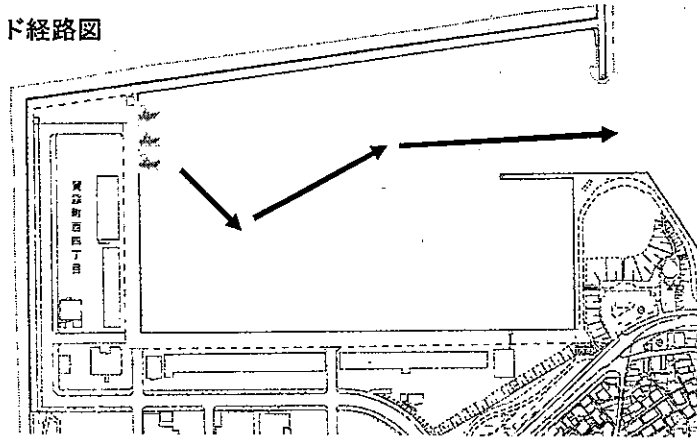
3. 海上歓迎・放流行事

海上パレード参加船内訳

| | |
|------------|--|
| パレード先導船 2隻 | 鳥取県漁業取締船「はやぶさ」 鳥取海上保安署巡視艇「とりかぜ」 |
| 漁船 7隻 | 沖合底びき網漁船 1隻 小型底びき網漁船 2隻 刺網漁船 2隻 いか釣り漁船 2隻 |



海上パレード経路図



II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

■放流行事 お手渡し及び御放流

実施内容

①構成

- 天皇皇后両陛下による4種の稚魚等の「お手渡し」を行います。
- 「お手渡し」の稚魚等は、後日、県内各地の生息適地への放流を行います。
- 天皇皇后両陛下によるヒラメ、キジハタの稚魚の「御放流」を行います。
- 両陛下の「御放流」に併せて、来賓と招待者がヒラメの稚魚の放流を行います。

②演出

- 「お手渡し」では、鳥取県が先進的に取り組んでいる藻場造成を全国に発信するためアラム・クロメを対象とします。
- 内水面漁業の振興を願ってヤマトシジミを対象とします。
- また、本県の栽培漁業対象種として重要なアワビ、バイを対象とします。
- 「お手渡し」の介添え者は本県で水産を学ぶ高校の生徒を、「御放流」の介添え者は海洋少年団等の児童を起用し、世代を超えて豊かな海を引き継いでいくことを呼びかけます。
- 「お手渡し」のお受け者は漁業後継者の代表とします。

③放流方法

- 放流参加者をブロックに分け、スムーズな進行を図ります。
- 各ブロックごとに10名×10列で並び、第1回目の放流で前列5列までの50名が、第2回目の放流で後列の50名が順次放流を行います。
- 放流参加者の足元には、あらかじめ放流魚を入れたバケツを用意し、補助員の誘導によりスムーズに入れ替わりができるようにします。

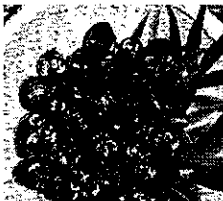

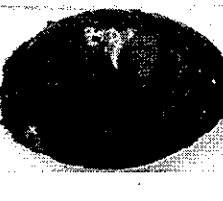



新潟県での実施状況

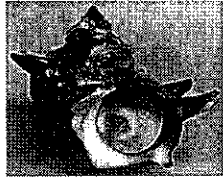
II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

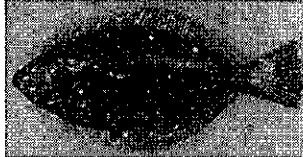

①お手渡し

| | | | |
|---|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●ヤマトシジミ ・県中部にある東郷湖の特産品 ・県東部の湖山池でも増殖を検討中 ・付着稚貝の移植放流を行っている |  | <ul style="list-style-type: none"> ●アラメ・クロメ ・漁場環境を回復するために、種苗の移植により藻場造成を行っている |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●クロアワビ ・岩礁域に生息する重要魚種 ・栽培漁業対象種として放流が続けられており、放流効果も見られる |  | <ul style="list-style-type: none"> ●バイ ・沿岸の砂浜域に生息 ・今後の栽培漁業対象種として検討中 |  |

(予備)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●サザエ ・岩礁域に生息する重要魚種 ・栽培漁業対象種として放流が続けられており、放流効果も見られる |  |
|--|---|

②御放流

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●ヒラメ ・鳥取県の県魚 ・砂浜域に広く生息する沿岸漁業の重要魚種 ・古くから栽培漁業に取り組んできたが、近年は休止。再開を検討中 |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ●キジハタ ・岩礁域に生息し、主に釣で漁獲される ・美味しさと漁獲量の少なさから高値で取引される高級魚 ・今後の栽培対象種として試験放流を実施中 |  |

II 大会計画

3. 海上歓迎・放流行事

■式次第

| 進 行 | 内容・出演者等 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 歓迎演奏 | 演奏：県内音楽隊 |
| 進行概要説明 | 司会者 |
| 天皇皇后両陛下放流会場御着 | 御先導：鳥取県知事 ご入場演舞：大漁太鼓又は貝がら節など |
| 天皇皇后両陛下御放流所御着 海上パレード | 漁船等9隻によるパレード 演奏：県内音楽隊 |
| 第1回お手渡し | 介添え者：水産を学ぶ高校生 お受け者：漁業後継者 |
| 第2回お手渡し | 介添え者：水産を学ぶ高校生 お受け者：漁業後継者 |
| 第1回御放流（ヒラメ） | 介添え者：海洋少年団等 |
| 第2回御放流（キジハタ） | 介添え者：海洋少年団等 |
| 天皇皇后両陛下御放流所御発 | 御先導：鳥取県知事 御発演奏：県内音楽隊 |
| 終了アナウンス | 参加者への謝辞、連絡事項 その他イベントの紹介 |
| 終了 | |

II 大会計画

4. 関連行事

(1) ふれあい交流行事

① 会場配置

■ 基本的な考え方

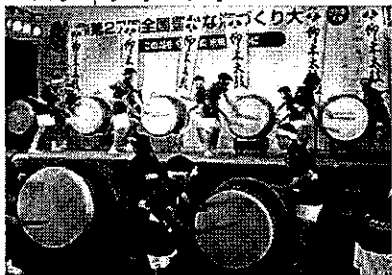
同時期に開催される「食のみやこ鳥取県フェスタ」会場である、コカ・コーラウエストスポーツパークを主会場に据え、鳥取県の水産業や環境保全に関する活動、鳥取県の魅力発信をする会場づくりを行います。

また、「海上歓迎・放流行事」が行われる会場においては、隣接する既存店舗や「かにっこ館」と連携した展示・物販等を行うことで、全会場を回れない方にも鳥取県の魅力を感じていただきます。

体験コーナー



ステージイベント



企画展示



先催県での実施例

II 大会計画

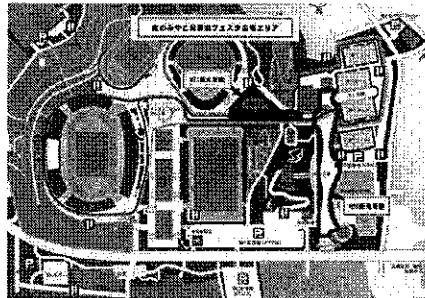
4. 関連行事

②行事計画

■関連行事会場 その1 <ヨカ・ヨーラウエストスポーツパーク>

●テーマ展示

鳥取県の海や魚、水産業について楽しく学ぶことができるとともに、海の恵みに感謝し、自然を守り育て、未来を担う子どもたちに引き継いでいくことの重要性、その豊かな自然環境で育まれた食文化や四季折々の素晴らしい自然の恵みを、広く発信する展示とします。



*具体的なレイアウトは外注して実施計画で作成

1. 水産業

1) 鳥取県の海(漁場)

目的: 鳥取県のさかなを育む豊かできれいな漁場をPR

解説内容: 海洋的位置付け・海洋構造・地形(日本海最大の大陸棚など)・季節的变化・清浄な水質・安全性など

展示方法: パネル・写真・ビデオ映像など

2) 鳥取県のさかな

目的: 四季折々に豊かで多様な魚介類に恵まれていることを伝える(理解と体感させる)とともに、賑わいの空間を演出する。

解説内容: 海洋的特徴(対馬暖流・冷水塊など)・漁場(海域や水深)・季節的变化に富んだ海洋環境を背景に、多様性に富んだ豊かな魚介類が生息していることを伝える。

展示方法: 解説パネル・写真・剥製・水槽・タッチングプールなど

3) 鳥取県の水産業

目的: 鳥取県の水産業を概観し、豊富な水産物や水産加工品をPRする。

解説内容: 鳥取県の漁業(沖合・沿岸・内水面)と水産物・水産加工業など

展示方法: 解説パネル・ビデオ映像・漁具(実物・模型)・加工品・鮮魚など

4) 鳥取県の「海づくり」活動

目的: 「豊かな海づくり」のための鳥取県の取り組み(努力)を示し、水産振興施策への理解を県内外に深めてもらう。

対象: 新規性があり、既に成果が上がっている全国に誇れる取り組み

解説内容: 背景(対象漁業・施策の必要性など)・目的(キャッチフレーズも)・取り組み内容(体制も)・成果(社会的な変化も・ビジュアルに)・参考(生態的特徴)

II 大会計画

4. 関連行事

【栽培漁業部門】

テーマ事例：鳥取県の栽培漁業(全容)・アワビ放流事業の成果・ヒラメ栽培漁業の復活に向けて・キジハタ栽培漁業実用化を目指してなど

【資源管理部門】

テーマ事例：ベニズワイかにかご・沖合底びき網(ズワイ・改良網等)・クロマグロ資源動向・マアジ資源動向・バイ資源回復・イワガキ資源回復など

【漁場保全部門】

テーマ事例：藻場造成・イワガキ稚貝付着促進・中海漁場環境・赤潮対策など

【内水面部門】

テーマ事例：東郷湖シジミ資源回復策・日野川アユ資源回復策・外来魚駆除活動
休耕田活用によるホンモロコ養殖・希少種アユカケ養殖への挑戦など

5) 日本海有数の水産基地 境漁港

目的：日本一の水揚げを誇るカニやマグロ、様々な水産加工品をPR

解説内容：加工の歴史、HACCP、水温技術、現状から目指すべき方向性(キチン、キトサン、コラーゲン、フコイダン)についての研究など

展示方法：検討・調整中(パネル・写真・ビデオ映像など)

6) 大学等の研究機関の取り組み

目的：水産についての研究の取り組みをPR

解説内容：大学等の研究機関で研究している内容の紹介

展示方法：検討・調整中(パネル・写真・ビデオ映像など)

2. 環境保全

豊かな自然を後世に残すための取り組み内容を紹介します。

1) とっとり共生の森

企業やNPO等の多様な県民との協働した森林づくり活動の紹介

2) 有機・特別栽培への取り組み

農薬や肥料などの未使用や削減など、環境にやさしい農業への取り組みを紹介

3) 持続可能な社会への取り組み

4R(Refuse、Reduce、Reuse、Recycle)をはじめとする、ゴミ排出量の減量やリサイクル率アップへの取り組みを紹介

4) 水環境保全への取り組み

生活排水等により水質汚濁の進んだ湖沼の再生活動への取り組みを紹介

5) 環境教育・学習の取り組み

こどもエコクラブ活動など、環境問題に向けた取り組みを紹介

6) 中海の環境保全の取り組み

ラムサール条約に登録された中海の水質改善や環境学習など、地域住民と連携した取り組みを紹介

7) 鳥取環境大学の取り組み

教育面・研究面での取り組みを紹介

II 大会計画

4. 関連行事

- 8) 山陰海岸ジオパーク
世界ジオパーク認定を目指す、京都・兵庫・鳥取の3府県の取り組みを紹介
- 9) 清掃活動紹介コーナー
住民参画で行われる清掃活動を紹介

3. 食のみやこ鳥取県の紹介

鳥取県の水産物の食文化や美味しい食べ方など、鳥取県水産物の魅力をPRする。

- 1) 鳥取県のおいしい魚
 - ・旬のお魚カレンダーの紹介
 - ・消費量日本一(かれい、かに、いわし、ちくわ)の美味しいおさかなの紹介
- 2) 伝統料理
郷土料理(白ハタ寿司、いぎす)、加工品(板わかめ、あごちくわ、野焼きちくわ)、さばの糍漬け、板わかめ、ちくわの展示
- 3) 新・名物料理
モサエビ、ばばちゃん、クロマグロ、白イカ、ホンモロコなど、地域の特産品を活用した、名物料理作りの取り組みを紹介
- 4) 試食・試飲コーナー
鳥取県のおさかなを使った料理の試食、食のみやこ鳥取県を支える名水の試飲コーナーを設置
- 5) 特色ある県内の水産加工品
郷土色豊かな「ふるさと認証食品」の紹介

4. 鳥取県の紹介

企画展示の一つとして、「鳥取県の自然・文化」「ふれあい体験」「憩いの場」を設置することで、鳥取県の魅力を県内外へ発信します。

- 1) 鳥取県の自然・文化等
 - 【鳥取県の観光】
鳥取県内の主要な観光地・自然等を紹介
 - 【鳥取県の文化】
『山のムラ・妻木晩田、海辺のムラ・青谷上寺地』などの文化を紹介
 - 【鳥取県の郷土芸能】
『貝殻節』や『ホーエンヤ祭』など、水産業の発展に尽力された先達から伝わる郷土芸能などを紹介

II 大会計画

4. 関連行事

2) ふれあい体験

【伝統工芸の体験】

清流川沿いに発達した因州和紙の紙すき、弓ヶ浜半島の弓浜緋の機織りが体験できるコーナーを設置

【境港総合技術高等学校】

校内実習や乗船実習を紹介

【木工・海藻おしばの作成】

豊かな海をつくる森林の間伐材を活用した木工体験、海藻によるおしば葉書の制作体験教室の開催

3) 憩いの場

【海づくりギャラリー】

大会で募集した絵画、習字、写真の優秀作品を展示

【第32回全国豊かな海づくり大会PR】

次年度開催県の紹介コーナーを設置

【植樹祭のPR】

平成25年に本県で開催が予定されている植樹祭の紹介コーナーを設置

【ゆるキャラ】

大会キャラクター“ととリン”や、とりピー・とりモーなど鳥取県を代表するゆるキャラと記念撮影し、思い出づくりができるコーナーを設置

【海まつりコーナー】

水産まつり(境港)、かにフェスタ(賀露港)など、県内での水産業を盛り上げるイベントを紹介

【県民参画もてなしブース】

子どもお茶席、工作、昔遊びなど、小さな子ども連れの方が立ち寄り、楽しめるコーナーを設置

●アトラクション

本県の特徴ある伝統芸能や幅広い県民参加により、招待者をあたたかく歓迎します。

1. 地域伝統芸能公演

鳥取県内の優れた芸能を披露することで、県内の伝統芸能のオリジナリティと質の高さを発信します。

2. トークショー

全国で活躍する著名な方によるトークショーを企画します。

3. 県民ステージ

県民の参画による、自由な企画で会場を盛り上げるステージを企画します。

II 大会計画

4. 関連行事

■食のみやこ鳥取県フェスタ <同時開催>

●基本的な考え方

「食のみやこ鳥取県」を全国に発信する場として位置付け、会場全体を周遊することで、鳥取県全域の食を満喫できる構成とします。

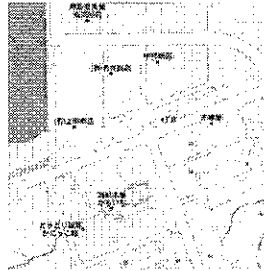
●物販・展示

郷土料理や伝統工芸品などを紹介し、地域特性を活かした内容とします。

大会終了後、実際にその土地に行って食してみたいと思えるような魅力を満載した内容とし、地域活性化が図られる展開を目指します。



■関連行事会場 その2 <マリンピア賀露>



* 具体的なレイアウトは外注して実施計画で作成

1. 企画展示

1) 鳥取港で水揚げされる魚介類

目的：鳥取港で水揚げされる魚介類をPR

解説内容：県中東部の拠点市場として、沿岸から沖合の様々な漁場でとられる、四季折々の水産物を紹介します

展示方法：解説パネル・写真・剥製・水槽・タッチングプールなど

2) 沖合底びき網漁業

目的：鳥取県の基幹漁業である沖合底びき網漁業をPR

解説内容：本県の特産物である松葉がに、ハタハタ、カレイ類などを対象とする漁業。小型魚の保護や夏場の休漁など、資源管理の取り組みを伝えます。

展示方法：解説パネル・写真など

3) 賀露の歴史文化

鳥取県東部に位置し、江戸時代は北前船の寄港地としても重要視されてきた、賀露地域の歴史や文化を紹介する企画展示を行います。

4) かにっこ館との連携

「かに」が主役の展示施設「かにっこ館」の充実を図り、「かにっこ館」と連携することで、松葉がにが住む深海を体験したり、世界一大きいタカアシガニなど、多くの生きたカニなどの展示を楽しめる企画とします。

2. 物産販売・飲食

既存の店舗の活用や連携により、特産品の販売を行います。

II 大会計画

5. 映像中継計画

■基本的な考え方

式典行事、海上歓迎・放流行事及び関連行事と一体感のある演出を行うために、各会場に大型映像装置を配置し、映像中継を行います。

■式典行事会場（とりぎん文化会館）

大型映像装置を会場に配置して、プロローグの演出や式典進行に必要な映像の放映を行います。また、放流・歓迎行事の放映を行います。

多くの参加者に式典の模様を見ていただけるように、海上歓迎・放流行事会場、関連行事会場に映像を中継します。

■海上歓迎・放流行事会場（鳥取港西浜地区）

大型映像装置を会場に配置して、式典行事の放映を行います。

多くの参加者に海上歓迎・放流行事の模様を見ていただけるように、式典行事会場、関連行事会場に映像を中継します。

■関連行事会場（コカ・コーラウエストスポーツパーク）

関連行事会場の多くの来場者に大会の模様を見ていただけるように、式典行事や海上歓迎・放流行事の放映を行います。

■中継システム概略図



II 大会計画

6. その他の行事

(1) 絵画・習字優秀作品御覧

■内容

全国豊かな海づくり大会を記念して、小・中学生を対象に絵画・習字コンクールを実施し、優秀作品を天皇后陛下に御覧いただきます。

■次第

| 進 行 | 内 容・出 演 者 |
|-------------|--|
| 天皇后陛下御着 | |
| 絵画・習字優秀作品御覧 | 御説明：鳥取県教育長 |
| | 受賞者：鳥取県知事賞 |
| | 絵画部門 小学生（低学年・高学年）・中学生（計3名） 習字部門 小学生（低学年・高学年）・中学生（計3名） |
| 天皇后陛下御発 | |



新潟県での実施状況

II 大会計画

6. その他の行事

(2) 歓迎レセプション

■内容

大会前夜に、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、歓迎レセプションを行い、「食のみやこ鳥取県」らしい鳥取の「食」でおもてなしします。

■次第

| 進 行 | 内 容・出 演 者 |
|------------|----------------------|
| 天皇皇后両陛下御着 | 御先導：鳥取県知事 |
| 開宴のあいさつ | 鳥取県副知事 |
| 主催者あいさつ | 鳥取県知事 |
| 歓迎のこトバ | 鳥取市長 |
| 乾杯 | 全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長） |
| 御歓談 | |
| 天皇皇后両陛下御退席 | 御先導：鳥取県知事 |
| 御歓談 | |
| 終宴のあいさつ | 鳥取県議会議長 |



新潟県での実施状況

II 大会計画

7. 大会運営計画

■基本的な考え方

すべての来場者の安全を確保するとともに、心のもったサービスを提供します。

大会を円滑に推進するため、事前に関係機関、関係団体との綿密な情報交換・調整を行います。

■計画概要

●運営体制

おもてなし精神ときめ細やかな心くばりで、来場者の心に残る大会運営に努めます。

障がい者・高齢者への配慮とともに、環境にも負荷をかけない「人と環境にやさしい」運営に努めます。

●緊急時対応

警察、消防、医療機関等関係機関、関係団体との連携を密にし、事故防止や非常時の迅速な対応に努めます。

●県民参加

ボランティア活動の年間行動者率が日本一である鳥取県の特徴を生かし、県民との協働を目指し、来場者の案内や会場の美化など大会運営への積極的なボランティア参加を呼びかけます。

II 大会計画

8. 荒天計画

■基本的な考え方

- (1) 荒天により海上歓迎行事の実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(A)に変更し、行事を実施します。
- (2) また、海上歓迎・放流行事の全ての実施が困難であると判断した場合には、荒天時計画(B)に変更し、行事を実施します。
- (3) さらに、暴風雨などの荒天時や、地震等による災害が発生した場合には、全ての行事を中止します。

■実施内容

(1) 荒天時計画(A)

| 行事名 | 内 容 |
|--------|---------|
| 式典行事 | 計画どおり実施 |
| 海上歓迎行事 | 中止 |
| 放流行事 | 計画どおり実施 |

(2) 荒天時計画(B)

| 行事名 | 内 容 |
|--------|------------------------------|
| 式典行事 | 計画どおり実施 |
| 海上歓迎行事 | 中止 |
| 放流行事 | お手渡しを式典会場で行う 放流行事会場の行事は中止 |

- 荒天が予想される場合、大会内容の変更及び大会中止の決定を速やかに行うため、判定会議を開催します。
- 判定会議における判断基準をあらかじめ定めます。



第31回
全国豊かな
海づくり大会 鳥取県
[つくろうよ みんなが笑顔になれる海] 開催:平成23年秋

Ⅲ 広報計画

1. 全体の概要

■基本的な考え方

- 大会テーマ、キャラクターを活用し、関連イベント等の内容を広報媒体をとおして積極的に情報提供し、大会趣旨の幅広い浸透及び県民協働意識の高揚を図ります。

■広報事業

- マスコミ各社、公共交通機関、県内商業施設、学校等と連携し、さまざまな広報活動を展開します。
- 大会PR誌の発行、広告塔・横断幕の設置等により大会開催を周知します。
- 公式ポスター、县市町村や関係団体が発行する広報誌及び新聞・テレビ・ラジオ等により気運の醸成を図ります。
- ホームページを開設し、実行委員会及び関係団体の事業や活動内容を積極的に情報提供するなど、大会趣旨の幅広い浸透を図ります。
- 県内のケーブルテレビのネットワークを用いて関連イベント等の内容を提供し、県民の参加意欲の向上を図ります。
- 大会を記念して、小・中学校を対象に絵画・習字コンクールを実施し、子どもたちの海への関心を高めます。また、優秀作品を大会会場に展示します。
- 大会開催までの過程や大会当日の様態を記録し、記録誌及び記念映像を作成します。

III 広報計画

2. 海づくりフェスタ(1年前イベント)

■海づくりフェスタ in鳥取港 (仮称)

日時：平成22年10月9日(土)

場所：鳥取市(調整中)

主催：第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会

■概要

大会を1年後に控え、県産水産物の素晴らしさや県内で活躍する水産関係者、ボランティアなどの取り組みを多くの皆様に紹介し、大会に向けた気運の醸成を図るため、子どもから大人まで楽しめる華やかなイベントを開催します。

■境港水産まつり(海づくりフェスタ in境港) (仮称)

日時：平成22年10月10日(日) (調整中)

場所：境港市(魚市場周辺)

主催：(社)境港水産振興協会

■概要

日本海有数の水産基地「境港」で毎年開催されている「境港水産まつり」と連携し、多くのお客様に大会PRします。境港ならではの、漁業や水産加工品、取り組みを紹介したり、子どもから大人まで楽しめる華やかなイベントを開催します。

III 広報計画

3. 今後に向けた取組(「白うさぎ大使」による国造り運動)

■基本的な考え方

豊かな海づくりのためには、森・川・海が一体となった自然の循環を守ることが重要です。鳥取県は県土の約74%を森林が占めており、環境保全を考える上で、海に関係している方だけでなく、川上に住む人々も含めて、意識の高揚を図ることが必要です。

多くの県民の方が、環境保全を考えるきっかけとなるような活動を実施し、活動に参加していただいた皆さんを因幡の白うさぎにちなんで「白うさぎ大使」と命名し、新たな国造り運動として県内各地に拡げ、大会につなげていきます。

■計画概要

●放流活動(リレー放流)

大会の開催に向け、漁協や市町村等と連携してリレー放流行事を実施し、県内の各地を結んでいきます。多く子どもたちに参加してもらい、海や川への感謝の心を養い、豊かな自然を次世代へ継承するための学習の場として、今後につなげていきます。

●環境保全活動

身近な海や川の環境保全、水産資源の大切さに気づくきっかけの場となるよう、県民参加による清掃活動など環境保全活動を実施していきます。

大会開催の気運醸成、そして大会終了後もゴミの抑制など環境保全に配慮した活動・行動を意識する気運を盛り上げていきます。

●各種イベントとの連携

県や漁協が行う水産関連行事、環境保全の重要性を啓発する各種イベントや、市町村や自治会、NPOなどの環境保全活動を実施している団体等と連携して、海づくり大会の積極的なPRを行い、県民の意識を盛り上げていきます。

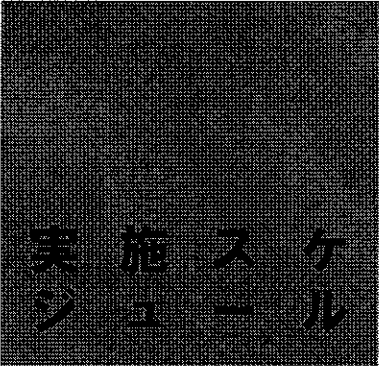


PR活動



放流活動





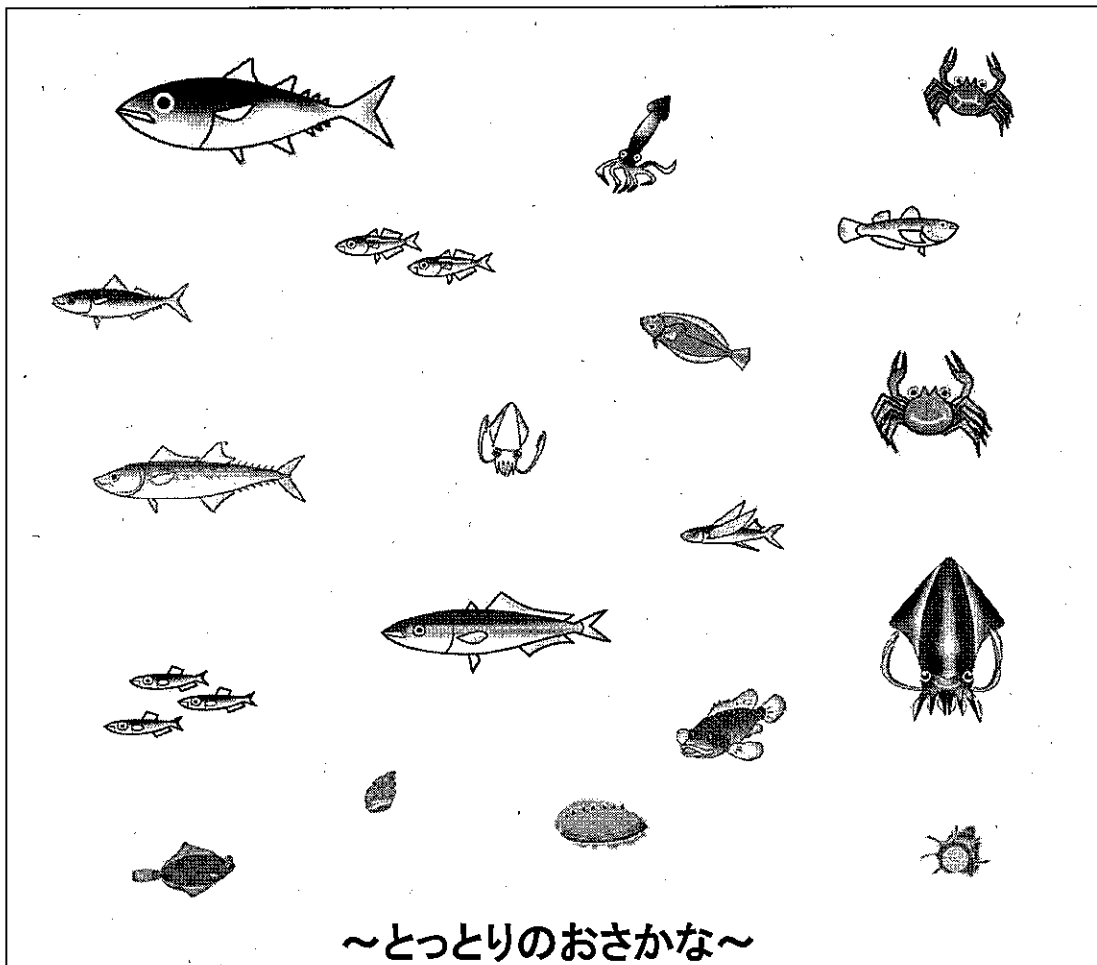
第31回
全国豊かな
海づくり大会 鳥取県
[つくろうよ みんなが笑顔になれる海] 開催:平成23年秋

IV 実施スケジュール(想定)

| 年度 | 月 | 大会開催計画 | 新たな国造り運動(仮称) | 広報計画 | |
|--------|--------|-----------------|---------------------------------|----------------|-----------------------------|
| 平成22年度 | 4月 | 実行委員会 基本計画の決定 | | 大会テーマ・キャラクター決定 | |
| | 5月 | | | | |
| | 6月 | | リレー放流 既存イベントとの大会PR 環境保全活動 | 岐阜県大会参加・大会誘引権 | プレイベント作品募集(ポスター) 募集・選考決定 |
| | 7月 | | | | |
| | 8月 | | | | |
| | 9月 | 開催日決定 | | | |
| | 10月 | 実行委員会 | 実施計画の策定 | プレイベント開催 | 大会開催作品募集(絵手紙) 募集・選考決定 |
| | 11月 | | | | ホームページ・ポスター・広報誌によるPR |
| | 12月 | | | | |
| | 1月 | | | | |
| | 2月 | | | | |
| | 3月 | | | | |
| | 平成23年度 | 4月 | 実行委員会 | | 大会記念作品募集開始(作文・絵画・書き・写真) |
| 5月 | | | リレー放流 | | |
| 6月 | | | | | 募集・選考決定 |
| 7月 | | | | | |
| 8月 | | 実行委員会 修正 | | | |
| 9月 | | 総会リハーサル・前日リハーサル | | | |
| 10月 | | 第31全国豊かな海づくり大会 | | | |
| 11月 | | | | | |
| 12月 | | | | | |
| 1月 | | | | | |
| 2月 | | | | | 大会記念誌・DVD作成 |
| 3月 | | 実行委員会 | | | |

※開催日を平成23年10月と想定した計画

第31回
全国豊かな
海づくり大会 鳥取県
[つくろふよ みんなが笑顔になれる海] 開催:平成23年秋



~とつとりのおさかな~

第31回 全国豊かな海づくり大会 鳥取県実行委員会事務局

〒680-8570 鳥取市東町1-220
鳥取県 農林水産部 全国豊かな海づくり大会推進課
TEL (0857)26-7678、7679、7896
FAX (0857)26-8102
E-mail:umi@pref.tottori.jp

大会HP

海づくり 31

検索

